

We can do it.

The future starts today!

私たちはできる。未来は今日始まるんだ!



小1▶高3
eisu
冬期講習
2019
12/24(火)
START

冬期特別招待講習

東進中学NET

東進衛星予備校

12/11(水)までのお申し込みで

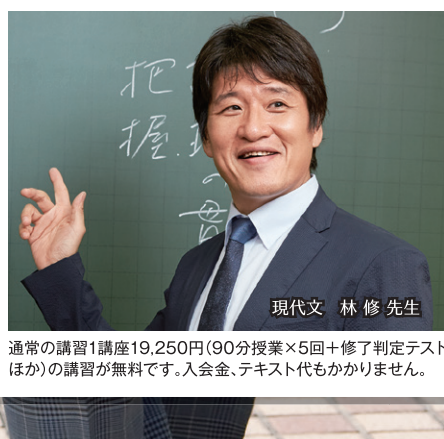
3講座無料

12/18(水)までのお申し込みで

2講座無料

12/25(水)までのお申し込みで

1講座無料



現代文 林修先生

通常の講習1講座19,250円(90分授業×5回+修了判定テストほか)の講習が無料です。入会金、テキスト代もかかりません。

eisu 55年構想

1. 学習環境 (日本→) 2. 能動学習 (日本→) 3. 実践英語 (日本→)
創立55周年を迎える2020年までのeisuのミッションです。

「『個』への対応」を指導理念に、「小・中・高一貫指導体制」と「ハイブリッド指導システム」で、eisu生一人ひとりは、志望校に優れた成果を毎年出しています。



「人生100年×AI」時代を 生きるための「学び」とは？

No.3

人的資本の価値を高める

2021年から始まる新大学入試を中心に、日本の教育や受験事情は激しい変化と混乱のなかにある。しかし、これはただ子供たちだけに関係する出来事ではない。教育は社会の鏡であり、教育の変化を通して社会の本質に迫ることもできるはずだ。

三重で半世紀以上にわたり民間教育を支えてきたeisu groupの最高執行責任者・伊藤 奈緒さんは、こうした観点から塾生のご家庭を中心に情報発信を継続的に続けている。連載最終回の今回は「学び」の意義について考える。

■自分の生活は自分で守る、 そんな意識が強まる時代

連載第1回で、AIの台頭がごく少数の極めて高いレベルの能力を持った人たちに仕事と富が集中していく流れを作り始めているとお話しました。しかし、時代を変える要因はAIの発達だけではありません。

たとえば「グローバル化」とは、単に英語を用いて外国人とコミュニケーションする機会が増えるといった話ではありません。それは、世界全体が

単一市場化することで、個人が世界との競争に直接巻き込まれることを意味します。また豊かさの到達点として個人の価値観が極限まで多様化していく反面、自己責任を極端に重視するような「リパタリアニズム」の傾向も先進国では強まる一方です。

時代の変化が急激すぎて、国家や制度が変化に追いつけなくなる中で、自分の生活は自分で守らなくてはならないという重い実感を、皆さん肌で感じておられるのではないのでしょうか。「人生100年時代」とは、激しく変化する世界の中で、長い人生を自力で適応し続けていかなければならない時代でもあるのです。

■「学び」は自分の価値を 高める最高の策

だとすれば、今の子供たちが身につけるべき能力は明確です。新しいことを学び続けることで時代の変化に積極的に適応できる力、つまり真の「学力」です。そのベースにあるのは、膨大な情報を取捨選択して物事の本質を理解することのできる精度の高い論理的思考力です。また思考力が

生きるには、自分の専門分野や社会全体についての知識・教養の蓄積が前提になります。さらに多様な価値観を持った人々と協働し、ともに問題を解決していく姿勢も大切です。これらは新大学入試が子供たちに求めている学力の3要素、即ち「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」そのものです。

新大学入試にはいまだ多くの問題があるのは確かです。でも、これを突破するために真剣に努力することは、これからの人生で無駄になることは決してありません。それは、子供たちの人的資本としての価値を大いに高めるでしょう。資本とは価値の源であり、人の社会において最大の資本は、人そのものです。学びによって自分自身の価値を高め、自分の人生を自分で切り開く、そんな独立自尊の精神を受験を通して身につけてほしい---私はそう願っています。

(おわり)

PROFILE

eisu coo(最高執行責任者) 伊藤 奈緒

三重県立津高等学校卒業、関西学院大学卒業。eisu入社3年でトップ講師になった後、東進の映像授業を使った指導システムを確立し、2010年にeisuCOOに就任。現在、三重大学大学院地域イノベーション学研究所博士課程在籍中。



eisu 総本部
〒514-0006 三重県津市広明町337(津駅西口前)
TEL 059-227-6444 (代)
(TEL受付時間:月~土11:00~20:00/日10:00~18:00)

eisu WEBサイト <http://www.eisu.co.jp>
eisu 検索

eisu三重 facebook



eisu高校部 LINE



小学1・2・3・4・5・6年生 中学1・2・3年生、高校1・2・3年生 「冬期講習生・冬期特別招待講習生・年間講座生」申込受付中